

平成28年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成28年4月～平成29年3月

1. 学校概要

学校名 広島県立府中高等学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 中高一貫教育 高等学校
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()

所在地 〒 726 - 0032
広島県府中市出口町898番地

E-mail fucyu-h@hiroshima-c.ed.jp

Website http://www.fucyu-h.hiroshima-c.ed.jp/

児童生徒数 男子 327 名 女子 385 名 合計 712 名
 児童・生徒の年齢 15 歳～ 18 歳

2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか (地域の持続可能性についての学習)

3. 活動内容

(1) 通常の授業時間での活動

E S Dをテーマに行った学習活動

本校では、総合的な学習の時間において、E S Dに基づいた次のような取組を実施した。

1学年では、本校のある府中市が抱える課題の一つである空き家問題について、様々な人々の立場から考え、より良く解決するためにはどのようにしていくべきかについて考えた。

2学年では、主に国際理解についての学習と地域の持続可能性について考える学習を行った。

異文化に対する興味・関心のさらなる醸成や異文化の人々との対人関係能力の向上等を目指して、本校の姉妹校であるハワイ州のミリラニ高校の短期留学生との積極的な交流を図った。ハワイ修学旅行では、ミリラニ高校の生徒に日本文化のプレゼンテーションを英語で行った。また、滞在中にはグループに分かれてハワイの伝統的文化や歴史等を体験的に学んだ。

また、「府中学」と題した地域の抱える課題を発見しその解決について考える学習では、府中市がよりよいまちとして持続していくためにはどうするのかについて、生徒がグループに分かれて探究し、考えた解決案を行政に提言した。

3学年では、これまでの教科の学習を通じて得た知識・技能を活用しながら、文書から必要な情報をすばやく読みとり、根拠を踏まえて情報を分析する能力の育成を目指す上で、地球規模で考えるべき課題を題材とした教材を活用し、持続可能な社会の形成者としての資質・能力を育成した。具体的には、フェアトレードやスローフードに関する和文および英文を題材として、文章や図表の中から必要な情報を収集したり解釈したりする活動を行った後、課題についての生徒自身の考えを共有させた。

さらに、世界規模の諸問題だけではなく、地域社会への関心をさらに高め、その改善に積極的に行動できる態度を育成するため、1学年から3学年まで共通して本校近辺の環境整備に取り組んだ。具体的には、本校の生徒の通学路のゴミ拾いを行ったり本校の最寄り駅であるJR府中駅の駅前の花壇花を植えるなどしたりして、環境美化に取り組んだ。

(2) ユネスコスクール委員会での活動

4月の熊本での地震災害を受け、本校生徒の防災意識の高揚を目指して、ユネスコスクール委員会で地元の防災マップと学校が避難所として果たす役割についてのポスターを作成し、文化祭等で展示をして啓発を行った。

また、3月には、東日本大震災の起こった日に合わせて、委員会で本を活用した学習会を行った。来年度以降の活動につなげていきたいと考えている。

